

博士課程教育リーディングプログラム 事後評価結果

| | | | |
|----------|------------------------------|---------------|-------|
| 機 関 名 | 信州大学 | 整理番号 | U02 |
| プログラム名称 | ファイバールネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成 | | |
| プログラム責任者 | 下坂 誠 | プログラムコーディネーター | 高寺 政行 |

博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価

[総括評価]

計画どおりの取組が行われ、成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。

[コメント]

リーダーを養成するための学位プログラム、体制等の構築については、通常の学位プログラムに加え、(1) 産業界から企業経営者や技術者の招へい、(2) 事業構想大学院大学との連携による社会人企業家との合同授業、(3) 海外の大学・研究機関・企業等との連携による充実したインターンシップの実施など、目標に即したリーダー育成学位プログラムを整え、着実に実施している。また、修士段階でフランス国立繊維工芸工業高等学院(ENSAIT)とのダブルディグリー取得者を輩出するなど、広い視野と国際的な感覚を身に付けた学生の育成に成功していることは、オンリーワン型に相応しい特色ある充実した教育プログラムが完成されたと高く評価できる。繊維分野の特徴とも考えられるが、本プログラムの女子学生比率が約4割となっており、今後の活躍が期待される。

修了者の成長とキャリアパスの構築については、繊維業界のみならず生体関連素材を中心とする医療関係や機能性素材の分野にまで修了者が就職するなど、ファイバールネッサンスを先導する人材の育成を通じて産業界の多様な業種にキャリアパスを広げる事に成功しており、評価できる。

事業の定着・発展については、本プログラムを通じて研究科の再編・整備を進めるなど大学院の教育研究の活性化につながっている点、英語による講義数の増加等により大学全体で留学生数が大きく伸びている点、及び大学の独自予算により本プログラムが令和2(2020)年度以降も継続される予定である点など、本プログラムの成果を全学に共有する体制を着実に整備しつつあり、評価できる。修了者が産業界の様々な分野に進出し活躍しているという実績を生かし、博士後期課程に進学せずに就職しようと考えている学生に対して、博士後期課程進学が自身の多様なキャリアパスにつながるというマインドセットを共有できるよう、今後もキャリア形成プログラムやイベントの実施を通じ、信州大学の魅力を高めていくことが期待される。